



1. 1階エントランスホール  
2. 4階コミュニケーションラウンジ  
3. 5階受付とロビー

#### 丸紅ビル 概要

- 所在地 東京都千代田区大手町1-4-2
- 建築主 丸紅(株)
- 設計者 大成建設(株)
- 施工者 大成建設(株)
- 竣工日 2021年2月26日

- 敷地面積 6,156㎡
- 建築面積 3,656㎡
- 延床面積 80,099㎡

- 階数 地上22階、地下2階、塔屋3階
- 構造 鉄骨造、一部鉄筋コンクリート造



詳細や他の写真などは  
左記の二次元コードから  
Webページに  
アクセスしてご覧ください。

の中心に「Round」と名付けた価値創造の場を設け、フロアによってインテリア、照明演出を変え、目によって仕事の場を選べるようにABWを実践している。まさに知的生産性を上げる仕組みを発注者と設計者が一体になって構築した証

と言えよう。

構造は前本社ビルの既存地下躯体を残置し、その内側に新築躯体を構築する設計・施工ならではの合理的な工法を採用している。またその外側の工区とは基礎形式を分けているが、異種基礎を採用したことによる沈下差の解析についてはゼネコンの技術を最大限駆使して高精度沈下予測解析により検証し安全性の確認を行っている。上部構造は柱型を内部に出さずスペース効率を上げるアウトフレーム構造を採用しており、このアウトフレームは外部からの日射制御としても機能している。この場合、通常もつと

も懸念されるのは外装の汚れや積雪の落下であるが、雨水排水や雪止め、避雷に配慮した緻密な窓周りのディテールにより見事に解決している。また、本社としてのBCPに配慮した免震構造を採用している点も評価できる。設備システムに関しては近年のこの規模のビルで採用する標準的なシステムではあるが、外皮の省エネ性能の高いガラスや前述の日射遮蔽効果に加え、何よりも当敷地では地域冷暖房が利用できることによりBEEI〇・六三を達成している。

も意識し、「日本の美意識」をテーマに内部仕上げに左官や木細工などの伝統技術を採用している。ガラスや金属の加工においても職人の技による手業を取り入れられており、素材のよさを生かした内装、建具、造作工事が施工されている。まさに最新技術と伝統技術の融合が実現されている。

総合的な見地からもゼネコンに設計・施工一貫で発注したことで発注者と一体でプロジェクトを推進し、結果として最終のプロダクトも全体から細部にいたるまで完成度が非常に高く仕上げられた好例と言えよう。



日建連表彰2023



第64回BCS賞

# 丸紅ビル

## 選定理由

【選考委員】  
中島 肇・篠原聡子・賀持剛一

「多様な働き方」を実現するために建設された総合商社・丸紅の新社ビルである。一時移転、引越などの煩雑なプロセスを経てでもあえてグループの礎となる地で前本社ビルの解体・建て替えによる新本社ビル建設を選択した。新たなワークプレイス構築にあたっては部署を横断した社員代表によるタスクフォースを組成し、早い段階から設計者と一体になって計画をつくり上げている。

敷地は南に内堀通りを挟んで皇居に面した恵まれた環境にあり、プランニングもこれを最大限に生かしている。有効スペースを皇居に向かって開いた空間とし、開口部は大判のガラスを使用し、更にはコーナリーの柱を抜いて最大限に視界を広げている。ワークプレイスにはそ

BCS賞 BCS賞は、建築の事業企画・計画・設計、施工、環境とともに、供用開始後1年以上にわたる建築物の運用・維持管理等を含めた総合評価に基づいて選考し、建築主・設計者・施工者の三者を表彰する建築賞です。この賞は、1960年にはじまり2023年で64回を数えました。

《日建連表彰2023 第64回BCS賞受賞作品》 WITH HARAJUKU / Entō / 大阪梅田ツインタワーズ・サウス、及び周辺公共施設整備 / 大阪大学箕面キャンパス 外国学研究講義棟 / 京都市美術館(京都市京セラ美術館) / シェルター・インクルーシブプレイス コハル / 渋谷 パルコ・ヒューリックビル / 清水建設北陸支店新社屋 / 新宮市文化複合施設(丹鶴ホール) / 那覇文化芸術劇場 なはーと / 日本女子大学白キャンパス再整備 / Port Plus / 丸紅ビル / ミチノテラス豊洲 / 早稲田大学本庄高等学院体育館